

学校だより 5月号

発行日 令和7年4月30日
北の台中学校長

学校教育目標
重点目標

「美しい人」
「自分で考え自分で決める」～ウェルビーイングの向上を目指して～

雨や雪の日こそ見守りに立つんです

新年度が始まり、一か月が過ぎようとしています。

緊張の4月を乗り越え、新しい環境にそろそろ慣れてきた時期でしょうか。授業も本格的に始まりました。5月、6月に予定されている校外学習にむけての活動も開始しています。それぞれが意義のある活動になるよう、準備をしてもらいたいと思います。

さて、上記の言葉は毎朝、中学校のスロープ側の校門に立って下さっている方の言葉です。凍てつくような寒い日も、うだるような暑い日も皆さんが安全で安心して登下校できるように、交通整理をしてくださっています。私が「天気の良い日の見守りは大変ではないですか？」と尋ねると上記の言葉が返ってきました。25年もの長い間、蓼川地区の小中学生の交通安全を見守り続けてくださっています。

見守り隊の歴史は、昭和56年の創立時にさかのぼります。当時の蓼川一丁目付近は雑木林があり、通学路は見通しが悪く、薄暗かったとのこと。そこで、交通事故や犯罪に子ども達が巻き込まれないように、と地域の有志の方々が小・中学校の登下校の時間に合わせて見守りを始めてくださったそうです。小学1年生が早めに下校をする新年度のこの時期は、登下校時刻が3パターンあるので、一日2～3回見守りに立って下さっているとのこと。

6年間以上見守り隊の方々に見守られながら登下校をしてきた中学生の皆さんにとっては、日常の風景の中に見守り隊の皆様がいて、もしかしたら、その姿を「当たり前」のように思っている人もいるかもしれません。

でも「当たり前ではない」ということが、中学生ならもうわかるはず。長い間、(悪天候の時には特に)見守りを継続するということ、どんなに尊いことであるかということが。そしてそこには大切な子ども達を守りたいという熱い思いがあることが。

他にも、綾瀬市交通指導員の方々(青い制服を着た方々です)や交通安全母の会の方々も定期的に皆さんの安全を見守ってください。さらに、学区には横断歩道に横断旗が設置されています。この横断旗は交通安全を願う方々からの寄付金などから、綾瀬市交通安全対策協議会事務局が旗を設置し、修理や点検をしてくださっています。横断旗はそこにあるのが「当たり前」ではないのです。交通事故を防ぐために必要だから設置されているものなのです。

多くの大人の不断の努力が中学生の安全を支えていることを改めて知り、その思いをしっかりと受け止めて欲しいと思います。



＜令和7年度 5月行事予定＞

日	曜	校内行事	清掃
1	木	専門委員会(②5月)、尿検査回収:2次	
2	金		○
3	土	憲法記念日	
4	日	みどりの日	
5	月	こどもの日	
6	火	振替休日	
7	水		
8	木		
9	金	1年遠足(愛川ふれあいの村)	○
10	土		
11	日		
12	月	3学年保護者会(進路説明・修学旅行)	
13	火	心臓検診	○
14	水		
15	木	内科検診①、家庭訪問①	
16	金	歯科検診、家庭訪問②	○
17	土		
18	日		
19	月	家庭訪問③	
20	火	家庭訪問④	○
21	水	尿検査回収:2次(未提出追加回収)	
22	木	家庭訪問⑤	
23	金		○
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		○
28	水		
29	木	内科検診②	
30	金		○

授業日数 20 日

最終下校時刻 5月 18:15